

S I Bを活用した健康ポイント事業 (おかやまケンコー大作戦) について

- SIB (Social Impact Bond) とは、民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払いの原資とすることを目指すもの。
- シンプルに捉えると、行政が成果報酬型の委託事業を実施し、その事業に対して民間からの資金調達を行うもの。

岡山市保健福祉局
保健管理課

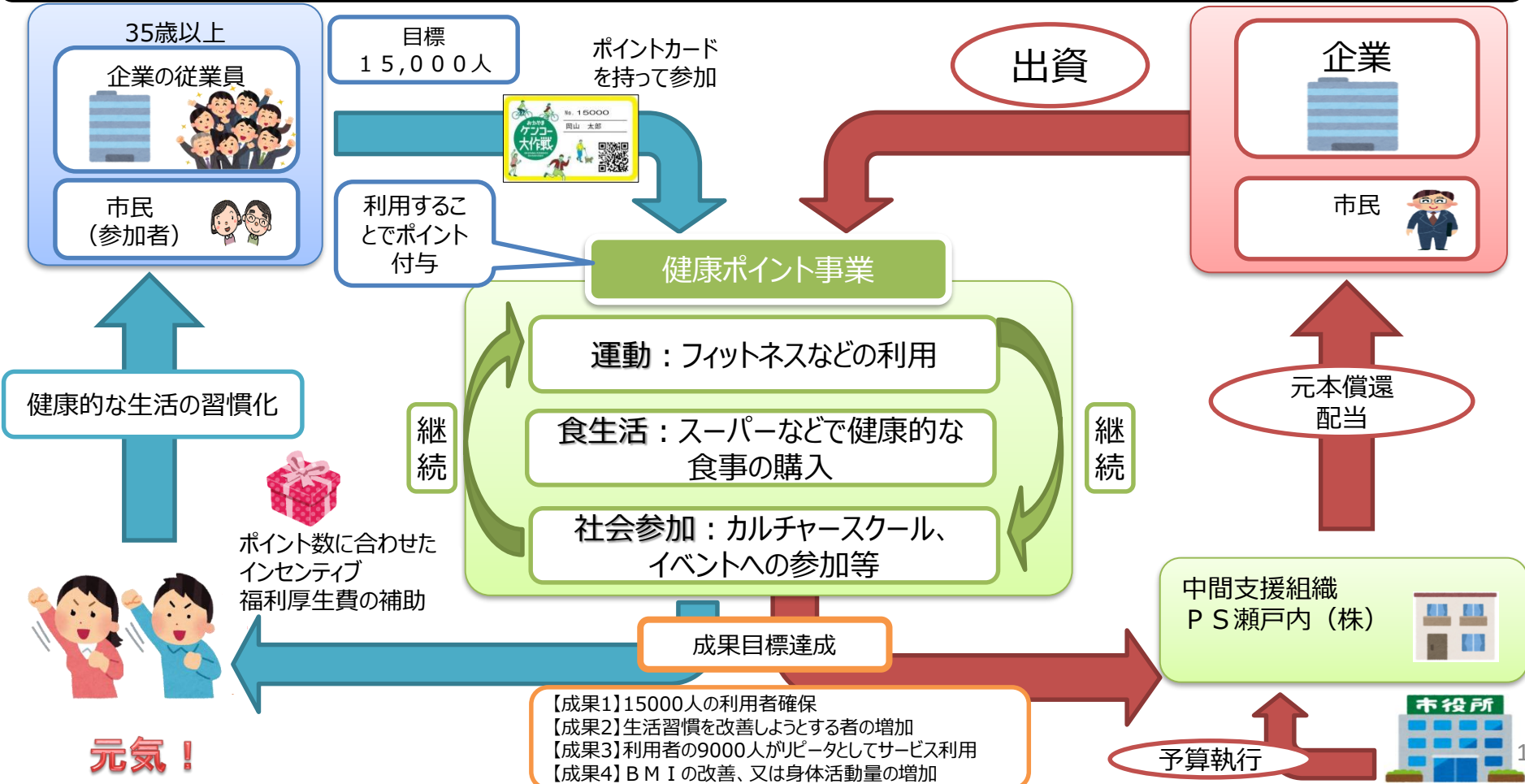
サービス内容と資金の流れ

【サービス内容】

- ・対象：35歳以上の市民（一般市民枠）及び在勤者（企業枠）で15,000人募集
- ・参加者はポイントカードを持ち、各サービスを利用。利用ごとにポイント付与
- ・たまったポイントに応じて参加者個人に商品券、企業枠で参加した企業に福利厚生費などのインセンティブを付与
- ・サービスを継続利用することで市民の健康的な生活が習慣化する

【資金の流れ】

- ・中間支援組織が企業・市民から出資を募り、その資金を基にフィットネス、スーパー等サービス事業者が、新たなサービスを構築し提供する（予め設定された成果目標達成に向け事業者や中間支援組織は、参加者が継続しやすいサービスを構築・提供）
- ・成果達成状況に応じて市から中間支援組織に事業費を支払う（予算執行）
- ・中間支援組織が出資者に元本償還、配当を行う



おかやまケンコー大作戦イメージ

ポイントカードを持って
店舗に行こう!!



【ポイント対象店舗】

(H31. 1月末現在)

フィットネスクラブ 9店舗

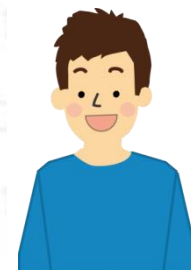
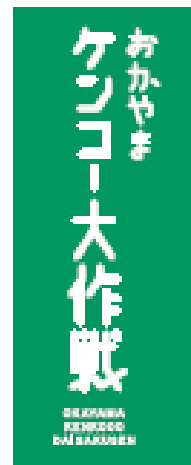
スーパー 43店舗

薬局 3店舗

その他、飲食店、カルチャースクール等

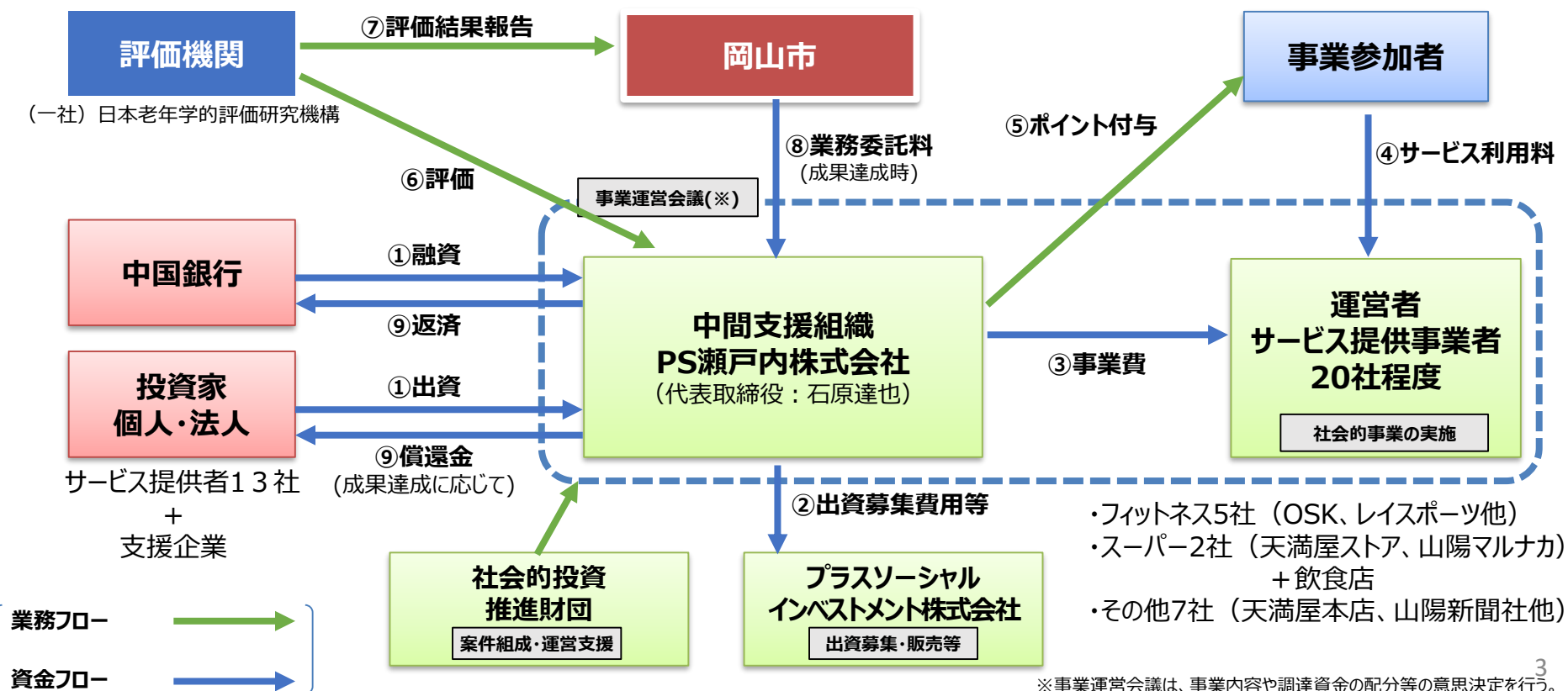


ポイント対象店舗はこの
ステッカー、のぼり旗が目印



(参考) S I Bとしての仕組み

- ① 融資・出資で資金調達を行う。(出資は企業50万円以上、市民一口2万円で、約3,000万円を目標)
- ② 出資の募集は、第二種金融商品取引業者であるプラスソーシャルインベストメント株式会社が取扱う。
- ③④中間支援組織は調達した資金からサービス提供事業者に事業費を配分し、サービス提供者は、その事業費と、事業参加者からの利用料で事業を実施する。
- ⑤ 中間支援組織は、事業参加者に、サービス利用状況に応じたポイントを付与する。
- ⑥⑦評価機関は、毎年度、B M I の改善状況等の評価を実施し、評価結果を市に報告する。
- ⑧ 市は、中間支援組織に、毎年度末成果に連動した予算執行を行う。
- ⑨ 中間支援組織は、最終年度(2022年度)に出資者に成果報酬に応じた償還金を支払う。



S I B 健康ポイントの特徴とスケジュール

- **健康ポイントの事業規模（日本最大規模）**
⇒5年で約3.7億円：事業効果として医療費抑制効果をKPIに設定
- **複数の事業者がサービスを提供（日本初）**
- **複数の事業者が健康経営の視点で従業員の健康づくりとして参加**
- **複数の事業者が資金面の応援として事業に関わる（日本初）**
⇒すでに約20社が支援を検討（約2000万円）



市民・民間企業・行政が一体となって岡山市の健康づくりを進める体制を整備し、新たな健康ポイント事業を展開

<事業参加者>

平成31年2月15日 参加者募集開始

平成31年4月1日 事業開始（ポイント付与開始）

<出資者>

平成31年2月15日 出資者募集